

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表:令和6年2月8日

事業所名 放課後等デイサービス がじゅまるの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	個別指導ができる訓練室があり小集団でトレーニングできるスペースも確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%	特性のある児童に合わせて、行動しやすいように構造化されています。建物の構造に玄関、部屋の仕切りに段差があるが移動の際に段差で踏み外しのリスクを考えて必ず見守りを実施しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	支援等、日々を振り返り職員全員で療育内容や結果を考え話し合いができています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	本年度開所のため、評価表を活用し、業務改善に努めます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	本年度開所のため、今回の評価結果より法人本部業務監査部に提出し、関西事業本部ホームページにて公開します	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%	第三者評価は行っていないが母体である法人の業務監査部で評価を行っています。	第三者による外部評価は、今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	加西市主催等の研修や外部研修、事業所内研修を行い参加の機会を設け、費用負担を行っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	ニーズや課題を職員間で話し合い、計画を作成しています。	

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	さまざまなアセスメントツールを用いて子どもの状況を把握し、保護者と情報共有を行い支援をしています。	
11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	活動内容については職員全員で話し合い立案しています。	
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	領域を中心に様々な活動を行うようプログラムを組んでいます。	児童の成長に合わせてプログラムを考えています。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日、土曜日、長期休暇にこだわらず、個々の児童に見合った課題を提供することができます。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	88%	13%	個別の支援と社会性を養う支援を合わせています。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	必ず打ち合わせをし、個々の課題提供や内容役割分担を行っています。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	課題に対する取り組み方、達成度など気づいた部分等を必ず記録して共有しています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	88%	13%	課題が適切かどうかを検討し、話し合い記録、話し合いを繰り返して改善しています。	記録の方法については、職員全員で統一できるように努めます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的実施し、支援計画については職員全員でケース会議を行い、見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	88%	13%	ガイドラインをベースに活動内容を組み合わせバランスよく支援を行うことを目指しています。	入職時や年間の研修の中でもガイドラインについて理解する機会を設け支援していくように努めます。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	相談支援事業所とは密に連携をとり行っています。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	年間計画等、保護者と情報共有を行っています。	学校との情報共有を図り適切に行っています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		医療的ケアが必要な子どもの利用がないため、該当しないが、利用がある場合は連携支援を行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%		必要に応じて各支援機関と情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	38%	63%		該当する利用者がいないため実施していませんが、今後は卒業後の意向をお聞きし、支援サービスの内容等の情報提供を行っていききたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	88%	13%	加西市事業者連絡会に入会しており、事業所との交流で他事業者の研修に参加し支援内容など学習しています。	他事業所や専門機関と連携を行い、助言や研修も今後検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	38%	63%	戸外活動では図書館や児童館を利用する機会を設け障がいのない子どもと交流する機会を増やしています。	障害のある・なしにかかわらずたくさんの子どもたちと関わる機会を増やします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	63%	38%		加西市子ども連絡協議会は参加していますが、今後は自立支援協議会等へも参加予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	発達の状況や課題について、日々共有できるように連絡帳に細かく記入し送迎時にも共有できるように話をしています。必要な場合には、保護者に来所してもらい状況を確認してもらっています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		現在行っていませんが今後検討していきます。
		30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約締結時に運営規程、重要事項説明書、代理受領、負担額などについて丁寧に説明を行っています
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	子育ての不安や悩み事を相談される保護者が多く、必要な助言を行い、その都度適切な支援を行っています。	
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	25%	75%	開所したばかりで父母の会や保護者会は開催できなかったが今後検討していきます。	今後は連携を深めていけるような開催を目標とします。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	75%	25%		個人情報に配慮をし、SNSを活用して活動概要は発信しています。今後は通信の発行も予定しています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報を記載した書等は必ず鍵のできる書庫に保管し、施錠確認を徹底して行っています。職員には個人情報保護に対する誓約書を提出してもらっています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	コミュニケーション方法を言語だけではなく、視覚支援や他のツールも使用して行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	地域の方と交流できようフリーマーケットを行ったり、イベント開催時には案内をしたりしています。	開所イベントをSNSで発信し、多くの地域の方が参加してくれました。今後も交流の場を増やしていきたいと思えます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	各マニュアルを定期的に研修で使用し、確認を行っています。	マニュアル作成を行うと同時に、職員、保護者間での情報共有を行っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	BCP計画を作成、避難訓練については定期的に実施しています。	災害、緊急事態発生時に備えBCP計画(事業継続計画)を作成しました。職員のみではなく、保護者への周知徹底を行う予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	事業所内研修と法人内研修を必ず実施しています。	北播磨地域主催の外部研修に参加し、他事業所と連携を図り情報交換などを行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	事業所内研修や法人研修を必ず実施しています。	北播磨地域主催の外部研修に参加し、他事業所と連携を図り情報交換などを行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		医師の指示書が必要な児童の利用が現状ありませんが、利用時には対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	記録を必ず行い、ミーティングで共有している。記録をファイリングし、いつでも職員が目を通せるようにしています。	ヒヤリハット等については今後も情報共有をし、再発防止に努めていきます。